

海老名市立大谷小学校 学校運営協議会 議事録
(令和6年度 第3回)

- 1 日時 令和7年2月21日(金) 9:00~10:30
- 2 場所 海老名市立大谷小学校 校長室
- 3 出席委員 藤澤 ゆかり委員、今別府 淳子委員、
桐生 行雄委員、吹越 真佐美委員、鈴木 竜也委員、
島仲 京子校長、岩上 克成教頭

4 会議の内容

(1) 学校評価

島仲校長：学校目標から今年度より新しく示しためざす子ども像「追究する子」、「創造する子」、「協働する子」に沿って、行事をはじめ活動を見直した。保護者に理解が得られているかについて、結果からみると子どもの姿でもっと発信していく必要があると感じる。質問の「子どもは主体的に学習に取り組んでいる」等の文言についても明確でないため、見直していく。PTAに関する質問もあるが、PTAについては改革中なので後程、話題に挙げたい。

桐生委員：重点目標について、具体的な文言にするとよい。

回収率が6割を切っているのは少し低い。

島仲校長：質問紙からグーグルフォームに変えた影響が大きい。

鈴木委員：二次元コード等を貼っておいて個別懇談の待ち時間に答えてもらおうとよいかもしれない。

(2) 次年度の学校経営方針

島仲校長：今年度の運動会の表現の取り組みはこれからも続けていきたい。ただ、スケジュールは余裕をもって取り組んでいく。音楽会を学習発表会として取り組んだ点については方向性を検討している最中であり、皆さんのご意見も伺いたい。

藤澤委員：ほかのことをやると音楽性という点では質が落ちる。音楽に集中してもよいのではないか。高学年であれば、今回4年生が文化会館で聴いたオーケストラの感動を自分たちの演奏で低学年に伝えるような形もよい。

島仲校長：音楽性を重視していくと、専科ばかりの取り組みになってしまい、教職員全体の取り組みになりづらい。

藤澤委員：その活動を通して子どもはどんな表現を目指すのか。表現したいことによって内容が決まってくるのではないか。

島仲校長：たしかに教師側は何をねらっているか、子どもは何のためにどうしたいかを明確に持って一緒に考え作っていく必要がある。

（PTAについて）

島仲校長：来年度から登校方法を個別方法に変える。自治会の方から連絡がないと言われた。

今別府委員：青健連を通して言うか、個別に案内を出した方がよい。危険箇所があるので見守りや指導が必要。

島仲校長：任意加入になるにあたり、PTAの組織の在り方が変わってくる。会費もどのように考えたらよいか。

藤澤委員：PTAという言葉でやらされる雰囲気が出るのがよくない。子どもを育てる親は協力したいと思っている。親の主体性も大事。

島仲校長：これから保護者の気持ちを生かせる形を検討したい。

（社会との関りについて）

島仲校長：今年度、総合的な学習の時間を中心に地域との関りをたくさんもってきた。今後も続けていきたい。

桐生委員：学校の使命として学力をつけることはもちろんだが、人との関わりも大事なことで、今年度の取り組みはよいと思っている。しっかり子どもたちがやったことを振り返り、次に生かしていけるようにするとよい。

吹越委員：地域の人だけではなく、まず保護者ともしっかりと関わっていくことも大事にするとよい。

（インクルーシブについて）

島仲校長：来年度「そだちの教室」ができる。多様な場は少しずつ増えているが、人が足りない。一人ひとりに寄り添う姿勢に難しさも感じる。

桐生委員：先生たちに余裕がないと子どもを育てられない。教科担任制等も利用して子どもたちにゆとりをもって対応できるとよい。

（３）次回の日程

次回の学校運営協議会は、令和７年５月１２日（月）９：００から開催予定。